

令和6年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会

令和6年11月22日（金）15:15～16:15

岩手教育会館カンファレンスルーム 200

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（中里企業局長）
- 3 委員長選出
- 4 議 事
 - (1) 令和6年度上半期の経営評価について
 - (2) その他（企業局事業の動向について情報提供）
- 5 閉 会

配付資料

資料1 令和6年度上半期 取組状況の総括

資料2 令和6年度上半期 経営評価総括表

参考資料1 岩手県企業局経営評価委員会設置要領

参考資料2 令和6年度 取組内容一覧表

参考資料3 水のチカラ～いわてeでんき～概要

令和6年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員	一関工業高等専門学校	あかし ながゆき 明石 尚之	
〃	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	あべ えいこ 阿部 瑛子	
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	なみかわ すずむ 濤川 進	
〃	国立大学法人岩手大学	わたなべ あさみ 渡部 あさみ	
〃	盛岡ガス株式会社	わたなべ のりお 渡邊 憲郎	
企業局	局長	なかさと ひろみ 中里 裕美	
〃	技監兼技師長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃	次長兼経営総務室長	あさぬま たまき 浅沼 玉樹	欠席
〃 (経営総務室)	特命参事兼管理課長	まつもと さとる 松本 哲	
〃	予算経理担当課長	ささき のぞみ 佐々木 のぞみ	
〃 (業務課)	総括課長	いとう たかゆき 伊藤 隆行	
〃	事業担当課長	すがわら ひであき 菅原 英明	
〃	電気課長	み おともあき 三尾 友明	欠席
〃	電気担当 主任主査	おいかわ たつや 及川 達也	代理
〃	土木・施設担当課長	こにし たつや 小西 達哉	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	たかはし ひろし 高橋 浩	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	むろつき あつし 室月 敦	
事務局	経営総務室 経営企画課長	しらい たかあき 白井 孝明	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	きくち ともや 菊池 智也	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	たかむら たくみ 高村 匠	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	かわぐち たくみ 川口 拓実	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 19 名

令和6年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

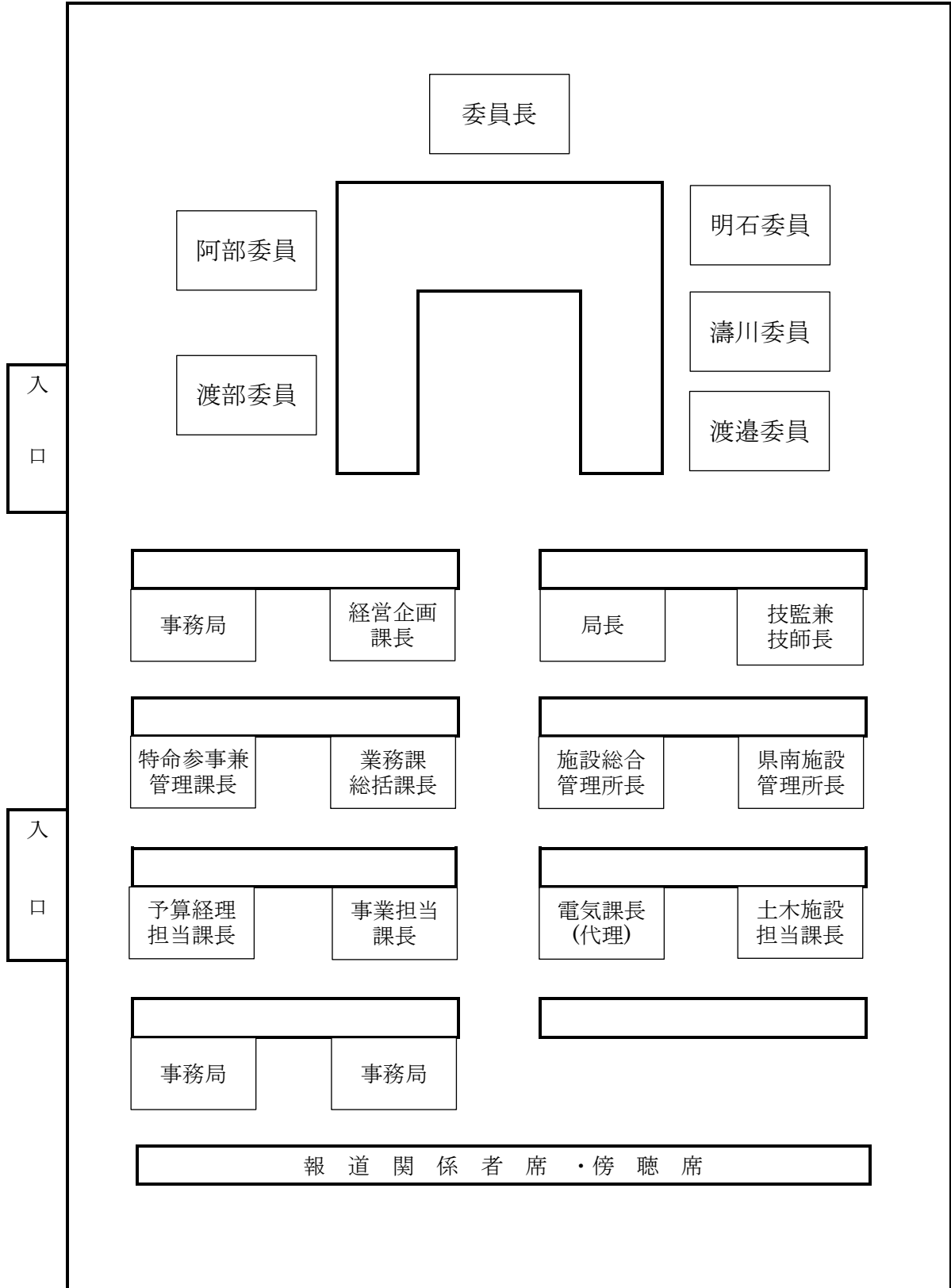
令和6年11月22日(金) 15:15 ~ 16:15

内 容	予定時間	備考
1 開 会 2 挨拶	15:15 ~ 15:22	
3 委員長選出	15:22 ~ 15:25	
4 議 事 (1) 令和6年度上半期の経営評価について (2) その他(企業局事業の動向について情報提供)	15:25 ~ 16:05	
5 閉 会	16:05 ~ 16:10	

令和6年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表

令和6年11月22日(金) 15:15 ~ 16:15

岩手教育会館カンファレンスルーム 200



令和6年度上半期 取組状況の総括

1 電気事業

第1四半期の出水が低調であったものの、第2四半期の出水が好調であったことや、日射量が好調だったことなどから、上半期の供給電力量は計画に対する達成率が105%となり、安定的に電力を供給しています。

【主な成果等】

- (1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくりに向け、概ね**計画どおりに工事等を進めています**。また、**電力土木施設の長寿命化**に向けた検討会議を実施し、耐震化対策スケジュール等について検討を行っています。AI・IoTを活用した維持管理の高度化として、保守データ収集システムの計画的な導入を進めています。
- (2) 再生可能エネルギーの維持拡大に向け、**4地点の開発可能性調査、1地点の基本設計**を進めています。また、入畑・胆沢第二発電所の再開発事業は、それぞれ令和7年度及び令和8年度の営業運転開始に向けて工事を進めています。さらに、既設発電所の出力アップに向け、東北電力ネットワーク株式会社へ接続検討申込みを行いました。
- (3) 安定経営を継続していくため、供給電力量の向上に向けて過年度に引き続き、四十四田発電所及び御所発電所において、ダム管理者である国土交通省と共同で、**洪水後期の放流を有効に活用する取組を試行**しました。

指標一覧

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	491	333/319
	保守データ収集システム導入施設累計 (導入済/全施設数)	6	4/6
取組内容 成果状況：12項目中 a 12項目(100%) b なし c なし			
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	新規水力発電所の調査地点数(地点)	4	5/4
	再開発による供給電力量の向上(千 kWh)	0	0/0
取組内容 成果状況：6項目中 a 5項目(83%) b 1項目(17%) c なし			
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	経常収支比率(%)	102	※年度末に評価
取組内容 成果状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし			

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のものと c 判定のものが両方ある場合
c: 取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の対応】

令和6年度上半期には、設備の経年劣化等に伴う供給停止が4件発生しました。部品の長納期化により、復旧に時間を要する傾向にあるため対策を検討していきます。維持管理の高度化に向けて、引き続き**保守データ収集システムの導入**を計画的に進めるとともに、その他の**新技術も試験導入**を進めながら効果の検証を行っていきます。また、「温室効果ガス排出量2050年実質ゼロ」に貢献するため、**新規水力発電所の開発に向けた調査検討**について、スケジュールを見直しながら進めていきます。

2 工業用水道事業

工業用水道施設維持管理要領に基づく点検及び作業を計画的に実施しており、**安定供給を継続**しています。

【主な成果等】

- (1) 良質な工業用水の安定供給に向け、高経年化した設備の更新工事を計画的に進めています。また、保守管理の高度化や業務の効率化に向け、**空中ドローンを利用した施設の点検**を実施したほか、**スマートメーターの試験導入に向けた手続きを進めています**。
- (2) 新たな水需要への対応として、昨年度から**新北上浄水場建設(第二期)工事**に着手しており、**上半期は土木施設の現地施工**を進めています。
- (3) 安定的な事業運営に向け、ユーザーの経営状況と市況の動向を注視しながら、契約水量の増量に向けた交渉を行っています。また、新北上浄水場建設(第二期)工事は、内閣府の地域産業基盤整備推進交付金の交付決定を受けました。

指標一覧

(1) 良質な工業用水の安定供給		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	料金対象水量(千 m ³)	15,436	7,746/7,746
	安定供給達成率(%)	100	100/100
取組内容	成果状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		
(2) 新たな水需要への対応			
取組内容	成果状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標設定なし
(3) 安定的な事業運営		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	経常収支比率(%)	58	※年度末に評価
取組内容	成果状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のものと c 判定のものが両方ある場合
c: 取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の対応】

ドローンを活用した建設工事現場の進捗管理（写真撮影）や施設・設備の年次点検を実施し、引き続き保守管理の高度化に努めます。

新たな水需要に対応する必要があるため、新北上浄水場建設(第二期)工事の工程管理を着実に実施し、計画的に供給能力を確保していきます。

経営の効率化に向けて、**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング**を適切に実施し、需要に見合った施設規模とすることで経費の削減を図っていきます。

3 組織力向上と地域貢献

電気主任技術者及び第一種ダム水路主任技術者の有資格取得数は、上半期時点で令和6年度の目標人数を確保できており、電気主任技術者については計画を上回っています。そのほかの経営目標も、概ね計画どおりに進んでいます。

【主な成果等】

- (1) 組織力向上を図るため、リクルートの一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣したほか、初の取組として中学生の職場体験を受け入れることとしました。職場環境の充実に向けては、無線 LAN アクセスポイントの設置や健康相談会の実施、発電所への女性用トイレ整備といった企業局働き方改革ロードマップに基づく取組を進めました。また、企業局事業の理解促進のため**施設見学会を開催**し、小学生を中心に121名の参加がありました。
- (2) 電力供給を通じた地域貢献として、「いわて復興パワー」による**電気料金の割引**や「いわて復興パワー水カプレミアム」及び「アマリングリーンでんき」を通じた**CO₂フリー電力の供給**に引き続き取り組んだほか、4月に早池峰発電所で発電した電気を県内の自動車産業を中心に供給する「岩手グリーン電気」が開始され、7月には県内の低圧で受電する個人及び法人などを対象とした新しいCO₂フリー電気プランである「水のチカラ～いわてeでんき～」の提供が開始されました。

また、地球温暖化防止に向けた取組として、水源涵養の促進及び環境保全を目的とした12件の植樹活動に苗木提供等の支援をしたほか、4件の植樹活動に41名の企業局職員が参加しました。

指標一覧

(1) 組織力向上		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	第一種・第二種電気主任技術者有資格者数(人)	5	8/5
	第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	6/6
	専門研修受講者数(人)	450	※年度末に評価
取組内容	成果状況：11項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

(2) 地域貢献		R6目標値	上半期 (実績値/計画値)
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	150	※年度末に評価
取組内容	成果状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもの c 判定のものが両方ある場合
c: 取組完了が困難な見込み

【課題と今後の対応】

電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、**局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成**を目指します。

また、電力の地産地消と脱炭素化に貢献するため、再生可能エネルギー電気特定卸供給※を活用し、プロポーザルによる小売電気事業者の選定を進めていきます。

※再生可能エネルギー電気特定卸供給…固定価格買取制度(FIT)を適用している発電所で発電した電気(電力及び環境価値)を、電力系統を管理する一般送配電事業者を経由して特定の小売電気事業者に供給するもの。

1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	207	112	319	61	111	491	
	実績	172	162	333				
	達成率	83	145	105				
保守データ収集システム 導入施設累計(導入済/全施設数)	計画	3	4	4	4	6	6/17	
	実績	3	4	4				

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満
各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

参考指標	目標値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力発電供給電力量(百万 kWh)	432	157	152	309			
風力発電供給電力量(百万 kWh)	57	14	10	24			
太陽光発電供給電力量(百万 kWh)	1.51	0.5	0.5	1.0			
水力発電所の供給停止 ^{※1} 件数(件/年)	3 ^{※2}	2	2	4			
水力発電所の供給停止 ^{※1} 時間(時間/年)	308 ^{※2}	104	2,430	2,534			
水力発電所の供給停止 ^{※1} 電力量(百万 kWh/年)	0.374 ^{※2}	0.003	3.935	3.938			

※1 雷等の自然現象や他者に起因する供給停止を除く ※2 平成25年から令和4年度までの設備不良に伴う供給停止実績の平均値

【特記事項】

- ① 水力、風力及び太陽光の合計の**供給電力量**は、水力発電で第1四半期の出水が低調であったものの、第2四半期の出水が好調であったことや、日射量が総じて好調であったことなどから **333 百万 kWh**、**達成率は 105%**と**計画値を上回りました**。
- 1) 水力発電の供給電力量は 105%と計画値を上回りました。
 - 2) 風力発電の供給電力量は 99%とほぼ計画値通りとなりました。
 - 3) 太陽光発電の供給電力量は 105%と計画値を上回りました。
 - 4) 供給停止は、柏台発電所、御所発電所、胆沢第四発電所において、計 4 件発生しました。
- ② **保守データ収集システム**は、「スマート保安導入計画」に基づき導入を進めており、**9 月には滝発電所への導入が完了**しました。

令和6年度上半期 経営評価総括表

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	a	△	③	ア ドローンを活用した施設点検の効率化	a	△
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	a	△		イ AI・IoTを活用した維持管理の高度化	a	△
	ウ 耐震化計画の推進	a	△		ウ 大容量通信環境の整備	a	△
②	ア 適切な保守作業の実施	a	△	④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a	△
	イ 風水害への備え	a	△		イ 河川管理者等との連携	a	△
	ウ マニュアル等の見直し	a	△		ウ 発電所共同運転事業者との連携	a	△

注) 進捗状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のもの c判定のものが両方ある場合
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

1) 年度別事業実施計画に基づき、修繕・改良工事等を進めています。

- ・松川発電所水車発電機分解点検補修等工事(R4~R6)：現地施工中 (R7.3 完成見込み)
- ・北ノ又発電所配電盤及び33kVキュービクルほか更新工事(R3~R5)：工期延長、現地施工中 (R7.3 完成見込み)
- ・岩洞第一発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新工事 (R5~R11)：機器製作中
- ・岩洞第二発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新工事 (R5~R7)：機器製作中
- ・早池峰発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新工事 (R5~R8)：機器製作中
- ・四十四田発電所水車発電機分解点検ほか配電盤更新工事 (R6~R8)：発注準備中
- ・御所発電所1, 2号水車発電機分解点検補修工事(R6~R10)：発注準備中
- ・胆沢第三発電所水車発電機分解点検補修ほか工事 (R6~R8)：機器設計中

2) 電力土木施設等の長寿命化対策に向け、以下の工事等を実施しています。

- ・松川発電所焼切川取水堰堤補修工事：現地施工中 (R7.3 完成見込み)
- ・松川発電所松川取水堰堤補修工事：現地施工中 (R7.3 完成見込み)
- ・仙人発電所取水塔・調整塔脚部塗装塗替工事：現地施工中 (R7.3 完成見込み)

3) **電力土木施設の長寿命化**に関する検討会議において、**耐震化対策スケジュールの策定**や水門設備や鉄管等の点検委託の選定方法について検討を行っています。

4) 電力土木施設の耐震化に向け、以下の工事等を実施しています。

- ・仙人発電所取水塔・調整塔耐震診断業務委託：業務履行中 (R7.3 完了見込み)
- ・岩洞第二発電所濁川サイフォン耐震化対策工事 (R5~R6)：現地施行中 (R7.3 完成見込み)

② 適切な保守管理

- 1) 年間作業停止計画表に基づき、発電所の定期点検作業等を実施しました。また、作業の安全性等の確認のため、計2回の電気主任技術者による保安パトロールを実施するほか、実際に起こりうる**労働災害を体験車(トラック)及びバーチャルリアリティー(VR)にて体感する安全体感教育**を職員向けに行いました。
- 2) 年間スケジュールに基づき、工事等に伴う河川法手続き及び協議を随時実施しました。
- 3) 風水害への備えとして、北ノ又第二発電所上倉橋橋台保護工事を進めています。また、発電施設における**自然災害の危険個所追加調査**を実施しています。

③ 新技術の活用

- 1) **鉄管ドローンを活用した内部点検**を松川発電所において実施しています。また、**垂直ドローンによる土木施設の点検を予定**しており、今後、有効性などを検証します。
- 2) AI・IoTの活用については、保守データ収集システムの導入を計画どおりに行うとともに、**異常兆候監視システムの調査**を進めました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）は、随時、工事進捗状況などを確認するとともに、令和7年度の完成に向け、岩手山麓農業水利事業所と工程等の協議を行いながら計画的に工事を進めています。
- 2) 北上川上流ダム再生事業における今年度の調査内容について、北上川ダム統合管理事務所と協議しました。
- 3) 湯田ダムの共同利水事業者3者（企業局、東北自然エネルギー株式会社、岩手中部土地改良区）による、**和賀川河川環境保全事業**として、**アユの稚魚放流を実施**しました。また、和賀川河川環境保全連絡会を開催し、湯田ダム共同取水口の定期点検等による湯田ダムの水位の低下について運用方法を協議し、了承していただきました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 修繕・改良工事については、引き続き、年度別事業実施計画に基づき進めていきます。
- 2) 電力土木施設等の長寿命化対策に向けた各種工事について、年度内の完成に向けて進めていきます。
- 3) 電力土木施設の耐震化に向けた調査、工事について、年度内の完了、完成に向けて進めていきます

② 適切な保守管理

- 1) 上半期までに発生した供給停止は4件であり、そのうち3件は近年の部品長納期化の影響から復旧までの停止時間が長期化しているため、今後対策を検討していきます。
- 2) 2発電所（岩洞第一、岩洞第二）の自然災害による被災リスク調査を進めており、年度末を目途に取りまとめを行います。

③ 新技術の活用

- 1) 垂直ドローンの試行結果を踏まえ、令和7年度からの本格運用に向けた検討を進めていきます。
- 2) 令和6年度に策定した「スマート保安導入計画」に基づき、新技術の試験導入などを進め、導入効果の検討を進めていきます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 湯田ダム共同取水口の定期点検作業を円滑に進めるため、和賀川河川環境保全連絡会（国、県、市、漁協、土地改良区、発電所共同運転事業者）において、実施状況等の情報共有を図ります。
- 2) 和賀川の河川環境の状況を調査し、和賀川河川環境保全連絡会（国、県、市、漁協、土地改良区、発電所共同運転事業者）にて報告します。

令和6年度上半期 経営評価総括表

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

(1) 経営目標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
新規水力発電所の調査地点数(地点)	計画	4	4	4	4	4	4	
	実績	5	5	5				
再開発による供給電力量の向上(千 kWh)	計画	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0				

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

新規水力発電所の調査は、5地点の業務委託を発注しており年度内に完了できる見込みです。再開発による供給電力量ですが、再開発が完了する令和7年度以降に目標値を設定しています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 新規水力発電所の開発可能性検討	b		②	ア 胆沢第二発電所の再開発	a	
	イ 新たな電源開発に向けた調査等	a			イ 入畑発電所の再開発	a	
					ウ 新たな再開発事業の検討	a	
				③	未利用エネルギーの活用推進	a	

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 水力発電所の新規開発に向け、**4地点の開発可能性調査、1地点の基本設計**を進めています。また、南本内地点ほか1地点において河川流量調査を行っています。なお、今年度予定していた1地点の基本設計及び1地点の概略設計については、入札不調等により今年度の実施を取止め、実施スケジュールを見直すこととしました。
- 太陽光や風力など、出力が変動する再生可能エネルギーの導入が進められており、電力系統の需給を調整するための新たな電源が必要とされていることから、開発可能性の基礎調査を行う業務委託を発注しました。

② 再開発の推進

1) 胆沢第二発電所

- 水圧鉄管更新(製作据付)工事(R5~R7)の水圧鉄管製作の完成: 工場製作中 (R7.2 完成見込み)
- 水圧鉄管更新(土木)工事(R5~R7)の既設水圧鉄管撤去の完成: 工事施工中 (R7.3 完成見込み)
- 発電所建屋改修工事(R6~R8)の着手: R7.2 着手見込み、修正設計実施中
- 水車発電機基礎改修工事(R5~R7)の着手: 工事着手済み
- 電気設備更新工事(R2~R8)の現地工事: R6.9 現地工事着手

2) 入畑発電所

- 水車発電機基礎改修工事(R5~R6)の完成: 現地施工中 (R7.3 工事完成見込み)
- 電気設備更新工事(R2~R7)の現地工事: R6.9 現地工事着手

3) 北ノ又第二発電所の再開発では再開発事業費の精査を進めています。

③ 未利用エネルギーの活用推進

既設発電所の出力アップに向け、東北電力NWへ接続検討申込みを行い、**送電線接続が可能か確認**を進めています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

「温室効果ガス排出量 2050 年実質ゼロ」に貢献するため、水力発電所の新規開発可能性調査及び基本設計を進め、事業化に向けた調査検討を進めていきます。なお、今年度実施を見送った基本設計及び概略設計については、次年度以降の実施を検討します。

② 再開発の推進

- 1) 胆沢第二発電所再開発事業は、多数の関連工事の工程調整を図りながら、令和8年度の運転再開に向けて、事業を進めていきます。
- 2) 入畑発電所再開発事業は、令和7年度の運転再開に向けて、引き続き現地工事を進めていきます。
- 3) 北ノ又第二発電所の再開発では、保守要則における水車発電機分解点検周期（R9）の期限を見据え、再開発の検討を進めていきます。

③ 未利用エネルギーの活用推進

既設発電所の出力アップについては、事業採算性などを含めた検討を進めていきます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	102	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

参考指標	目標(百万円(税抜))	実績(百万円(税抜))
経常収益	8,872	※年度末に記載
経常費用	8,735	※年度末に記載

【特記事項】

本項目は年度末に評価します。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	△	②	ア 業務の効率化	a	△
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	a	△		イ 経費の平準化	a	△
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	△	③	電力の新たな付加価値の検討	a	△

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもと c判定のものが両方ある場合
c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

①適正な収入の確保

- 1) R10年度の容量市場応札に係る年間作業停止計画をとりまとめ、期待容量の登録を行いました。
- 2) 供給電力量の向上に向け、**四十四田ダム、御所ダムにおいて洪水後期放流活用操作の継続試行**を行いました。
- 3) **令和6～8年度電力供給契約に基づくプロポーザルでの提案事項の実現**に向け、小売電気事業者と協議を進めていきます。

② 経営の効率化

- 1) 技術担当課長会議を開催し、技術的な課題の抽出・情報共有を行いました。
- 2) 経費の平準化に向けて、令和6年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定しました。

③ 電力の新たな付加価値の検討

公営電気事業経営者会議を通じ、電気事業制度の改正に係る情報収集を行ったほか、他道府県の電力供給契約に関する情報収集及び分析を行いました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- 1) 令和10年度分の容量市場メインオークションの落札結果に基づいて契約手続きを着実に進めていきます。
- 2) 四十四田ダム、御所ダムで実施した洪水後期放流活用操作の試行結果のとりまとめを進めていきます。
- 3) 令和6～8年度の電力供給契約に基づくプロポーザルでの提案事項の実現を着実に進めていきます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
料金対象水量(千 m ³)	計画	3,852	3,894	7,746	3,888	3,802	15,436	
	実績	3,852	3,894	7,746				
	達成率	100	100	100				
安定供給達成率*(%)	計画	100	100	100	100	100	100	
	実績	100	100	100				

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

※ ユーザーに安定供給した日数の割合 (自然条件による供給停止及び受水企業に対して事前調整を行った断水を除く)

参考指標	目標値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
供給停止件数(件/年)	0	0	0	0			
水質基準の逸脱件数(件/年)	0	0	0	0			

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	施設の強靱化及び大規模災害への備え	a	△	③	新技術の活用	a	△
②	ア 適切な保守作業の実施	a	△				
	イ 適切な水質管理の実施	a	△				
	ウ トラブル発生時の対応	a	△				

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のもの c判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

年度別事業実施計画に基づき、第三者の用地取得に関連するもの以外は、概ね計画どおりに進めています。

- 1) 第三浄水場高圧受変電設備及び監視制御装置ほか更新工事(R6~R8): 機器設計中(R9.3完了予定)
- 2) 北上ろ過施設配水管盛替工事の完成: 周辺企業間での調整完了後に着手

② 適切な保守管理の実施

- 1) 工業用水道施設維持管理要領に基づき、計画的な点検及び作業を実施しています。
- 2) 関係機関へ啓発物品配布や市広報誌への掲載など、油流出事故の防止に向けた活動を実施しています。
- 3) 大雨や河川への油流出等のトラブル発生時には、事故情報をユーザー企業及び関係機関と迅速かつ適切に情報共有し、必要な対応を行いました。

③ 新技術の活用

- 1) **空中ドローンを利用**し、金ヶ崎ろ過施設の建屋の年次点検を実施しました。
- 2) スマートメーターの導入に向けて検討を進めるべく、試験導入に向けた手続を進めています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

工事・委託が計画どおりに完成するよう、適切な時期の発注、工期の確保及び工程管理に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

1) 改良工事等を踏まえ、必要に応じて工業用水施設維持管理要領の見直しを進めていきます。

2) 良質な工業用水の安定供給に向け、引き続き油流出事故防止に向けた普及啓発活動やトラブル対応訓練を実施します。

③ 新技術の活用

1) **ドローンを活用した建設工事現場の進捗管理（写真撮影）**や、施設・設備の年次点検を引き続き実施します。

2) 工業用水道事業へのスマートメーターの導入に向けて、試験導入を行い、その結果をもとに効果の検証等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

(1) 経営目標、参考指標の状況

設定なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
施設・設備の整備	a	

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

- 新たな水需要に対応するため、新北上浄水場建設（第二期）工事に着手し、土木施設の現地施工を進めています。
- ・新北上浄水場建設土木（第二期）工事（R5～R7）：現地施工中
 - ・新北上浄水場建設機械設備（第二期）工事（R5～R8）：機器設計中
 - ・新北上浄水場建設電気設備（第二期）工事（R5～R8）：機器設計中

(3) 主な課題と今後の対応

新北上浄水場建設（第二期）工事の工程管理を着実に実施し、計画的に供給能力を確保していきます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	58	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

参考指標	目標(百万円(税抜))	実績(百万円(税抜))
経常収益	922	※年度末に記載
経常費用	1,593	※年度末に記載

【特記事項】

本項目は年度末に評価します。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a		②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	
	イ 経費の平準化	a			イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	a	
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a					

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもととc判定のものが両方ある場合
c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 経営の効率化

- 1) 複数施設の委託業務等を合冊発注し、業務の効率化と経費削減を図りました。
- 2) 中長期的な収支見通しを考慮しつつ、年度別事業実施計画を策定し、経費の平準化を図りました。

② 適正な収入の確保

- 1) ユーザー企業の経営状況と市況の動向を注視しながら、定期的に契約水量の増量に向けた交渉を行っています。
- 2) 工業用水道施設の新規整備や既存施設機能強化等に対する補助金や公営企業債などの財政支援について、令和7年度政府予算提言・要望を行いました。
- 3) 新北上浄水場建設(第二期)工事について、内閣府の**地域産業基盤整備推進交付金の交付決定**を受けました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングを適切に実施し、ろ過水の需要に見合った施設規模とすることで経費の削減を図っていきます。

② 適正な収入の確保

- 1) 物価高騰の影響等によるユーザー企業の実使用水量の動向を注視するとともに、関係部局と連携しつつ、新規立地企業の情報収集や給水に向けた対応を行います。
- 2) 補助金や公営企業債に関する国の動向等を注視しながら、引き続き、時期を捉えて必要な要望等を行います。
- 3) 新北上浄水場建設(第二期)工事について、地域産業基盤整備推進交付金を有効に活用して整備を進めていきます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (1)組織力向上

(1) 経営目標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第一種・第二種電気主任技術者 有資格者数※(人)	計画	5				5	
	実績	8	8				
第一種ダム水路主任技術者 有資格者数※(人)	計画	6				6	
	実績	6	6				
専門研修受講者数(人)	計画	450				450	
	実績	128	223				

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

※ 再任用職員を除く

【特記事項】

- 電気主任技術者については、引き続き受験に際して必要な支援をするほか、勉強方法等必要に応じてアドバイスしています。
- 第一種ダム水路主任技術者免状交付申請について1名が手続き中です。また、今後の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し経験を積む取り組みを進めています。
- 専門研修については、年度当初の受講計画を必要に応じて見直ししながら受講しています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a		③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	a			イ 職員の働きやすさ向上	a	
	ウ 人材育成・技術継承	a			ウ 安全衛生対策の充実	a	
	エ 経営力の強化	a		④	ア 広報活動の充実	a	
②	危機管理対策	a		イ 企業局施設を活用したエネルギー学習機会の提供	a		
				⑤	事業活動の脱炭素化推進	a	

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- リクルート活動の一環として、**県内の学校に企業局職員を講師として派遣**し業務説明を行いました。また、インターンシップとして2名の大学生を受入れ、5日間にわたって企業局の業務を体験してもらいました。
今年度は初めて中学生の職場体験を受け入れることとし、事業所を中心に受け入れ準備を進めています。
- 新採用職員研修は、所属にかかわらず共通する事項を研修項目として取り込み、4月から5月にかけて3回、延べ13日間実施しました。
- 新任職員研修のうち座学研修はこれまでの集合形式のほか、出席できなかった職員は当日収録した講義動画を視聴しました。

② 危機管理対策

災害対応訓練 (被害想定作成、行動計画策定、災害対応模擬訓練、情報伝達訓練等) を10~11月にかけて実施しています。

③ 職場環境の充実

- 1) 令和5年度に実施した「企業局職員アンケート」の結果に基づき、職員が求める改善・改革の実践を図り、職員の満足度の向上に取り組んでいます。
- 2) 「企業局働き方改革ロードマップ」及び「企業局の業務改善の推進に関する方針」に基づき、**無線 LAN アクセスポイントの設置、局内研修、健康相談会など**、働きやすい職場環境づくりに組織を挙げて取り組み、働き方改革推進会議における取組を進めています。
- 3) 労働安全衛生法で実施が求められる「新たな化学物質規制に対応したリスクアセスメント」について、取組を始めています。
- 4) 職員の働きやすさ向上を図るため、以下の工事を実施しています。
 - ・施設総合管理所改修工事(R5~R6)：現地施工中 (R7.3 完成見込み)
 - ・北ノ又第二発電所女性用トイレ増設工事：入札不調
 - ・四十四田発電所建屋改修工事 (女性用トイレ増設)：現地施工中 (R7.3 完成見込み)

④ 企業局事業の理解促進

- 1) みずりん・みどりんおしらせ隊が、四十四田ダムさくらまつりや花巻空港スカイフェスタなどのイベントに参加し、企業局の広報活動を実施しました。
- 2) 県民を対象とした**施設見学会を7月に開催**し、121名の方々にご参加頂きました。施設見学会では、いわて地域脱炭素推進員を講師とした環境学習を実施しました。

⑤ 事業活動の脱炭素化推進

事業活動の脱炭素化を目的とし、当局施設への太陽光発電設備導入可能性を調査する業務委託を契約しました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 職員採用については、積極的なリクルート活動により人材確保に努めるとともに、業務を円滑に推進するため、必要な組織体制の整備や適正な人員配置に努めます。
- 2) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、**局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成**を目指します。
- 3) 「企業局職員育成ビジョン」に基づき、専門性と経営感覚を備えた意識・能力の高い職員の養成に取り組んでいきます。

② 危機管理対策

災害応急対策マニュアルや協定などを、必要に応じて見直します。

③ 職場環境の充実

- 1) 「企業局働き方改革ロードマップ」に基づき、「働きやすい」環境づくりや「働きがい」のある職場づくりに向けた取組を進めていきます。
- 2) 職場環境の充実を図るため、各施設の改修、女性用トイレの増設工事を進めていきます。

④ 事業活動の脱炭素化推進

事業活動の脱炭素化を推進するため、企業局施設への太陽光発電設備の導入に向けた可能性調査を実施し、導入する施設の選定を進めていきます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (2) 地域貢献

(1) 経営目標の状況

経営目標	目標(t-CO ₂)	実績(t-CO ₂)	達成度
地域貢献事業による温室効果ガス削減量	150	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

【特記事項】

本項目は年度末に評価します。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	a	△	②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	a	△
	イ 一般会計への繰出し	a	△		イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	a	△
					ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	a	△
				③	ア 水素利活用への取組	a	△

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合
c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 令和6年度から令和8年度までの電力供給契約に基づき、東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワー(電気料金割引)は、令和5年4月より新規の受付を停止しております。いわて復興パワー水力プレミアムによるCO₂フリー電気の供給企業等は令和6年9月末時点で27件となっています。また、7月から、**県内の低圧で受電する個人及び法人**などを対象とした新しいCO₂フリー電気プランである**水の子カラ〜いわてeでんき〜**の供給が開始されました。
- 久慈地域エネルギー株式会社と連携して取り組んでいる**アマリングリーンでんき**による地産地消CO₂フリー電気の供給企業等は、令和6年9月末時点で38件(kWhベースの利用率：91.2%)となっています。
- 令和6年4月より、**一般社団法人東北自動車産業グリーンエネルギー普及協会(TAGA)**に、早池峰発電所で発電した電力の供給を開始し、県内の自動車産業を中心に岩手県の再生可能エネルギーを地産地消する**岩手グリーン電気**の供給が開始されました。
- FIT発電所の電力及び環境価値を県内に供給し、電力の地産地消と脱炭素化に貢献するため、**再生可能エネルギー電気特定卸供給**による小売電気事業者の選定に向けたプロポーザルの公募を行いました。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業**については、市町村が再エネ設備または省エネ設備を導入する**6事業に対し支援**を行うこととしています。
- 植樹活動支援事業**では、水源涵養の促進及び環境保全を目的とした12件の植樹活動に苗木提供等の支援をしたほか、4件の植樹活動に41名の企業局職員が参加しました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

環境生活部が実施する「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」に対し、財政支援を行う予定です。

(3) 主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

再生可能エネルギー電気特定卸供給について、地域貢献に資する供給相手を公募型プロポーザルにより選定していきます。

② 地球温暖化防止に向けた取組

クリーンエネルギー導入支援事業について、交付決定した事業の実施状況を把握し、適切な管理に努めます。

③ 水素利活用推進プロジェクト

県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集を行いつつ、引き続き財政支援に取り組めます。

令和6年度上半期 経営評価総括表

【補足説明資料】

1 電気事業

① 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	58	141	92			
降水量平年比	75	150	122			
平均風速平年比	99	104	100			
日射量平年比	112	110	111			

② 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,827	1,597	3,424			
	実績	1,707	1,727	3,434			
	達成率	93	108	100			
風力	予算	317	203	519			
	実績	292	219	511			
	達成率	92	108	98			
太陽光	予算	19	16	35			
	実績	19	18	36			
	達成率	101	109	105			
合計	予算	2,162	1,816	3,978			
	実績	2,017	1,964	3,981			
	達成率	93	108	100			

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

2 工業用水道事業

① 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	169	170	339			
	実績	171	172	343			
	達成率	101	101	101			
ろ過給水	予算	51	52	103			
	実績	51	52	103			
	達成率	100	100	100			
合計	予算	220	222	442			
	実績	222	224	446			
	達成率	101	101	101			

② 工業用水の水質

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
濁度(度) (供給規定15度以下)	0.3	0.4	0.3			
水素イオン濃度(pH)(6.0以上8.5以下)	7.01	7.04	7.03			

3 組織力向上と地域貢献

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
企業局施設見学者数(人)		393	733	1,126			
地域貢献事業の 支援金額※	クリーンエネルギー導入支援	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	植樹活動支援	1,030 (6)	910 (5)	1,940 (11)			

※単位は千円。カッコ内は件数

○岩手県企業局経営評価委員会設置要領（平成16年7月）

岩手県企業局経営評価委員会設置要領

平成16年7月

改正 平成20年7月3日企業経第92号

（趣旨）

第1条 岩手県企業局の経営計画や経営改革の進捗状況を局外から客観的に評価・検証するため、岩手県企業局経営評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- （1） 岩手県企業局中期経営計画の評価に関すること。
- （2） その他経営計画や経営改革の推進に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、委員5名をもって組織する。

- 2 委員は、岩手県企業局の事業に関して優れた見識を有する者のうちから企業局長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第4条 委員会には委員長を置き、委員長は委員の互選とする。

- 2 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。
- 3 委員長が不在のときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会は、委員長が招集し、これを主宰する。

- 2 委員長は、必要があると認められるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（事務局）

第6条 委員会の庶務は、岩手県企業局経営総務室において処理する。

（その他）

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成16年7月26日から施行する。

令和6年度 取組内容一覧表

参考資料2

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	本局担当課	達成状況
1	電気事業				
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり				
	①施設の強靱化及び大規模災害への備え				
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・松川発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新ほか工事（R4～R6）の完成 ・仙人発電所1,2号発電用11kVキュービクル更新工事（R5～R7）の進捗管理（図面等承諾） ・岩洞第一発電所水車発電機分解点検補修ほか改良及び配電盤更新ほか工事（R5～R11）の進捗管理（図面等承諾） ・岩洞第二発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新ほか工事（R5～R7）の進捗管理（図面等承諾） ・早池峰発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新ほか工事（R5～R8）の進捗管理（図面等承諾） ・四十四田発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新ほか工事（R6～R8）の契約締結 ・御所発電所1,2号水車発電機分解点検補修ほか工事（R6～R10）の契約締結 ・胆沢第三発電所水車発電機分解点検補修工事（R6～R8）の契約締結 ・施設総合管理所集中監視制御システム更新工事（R6～R9）の契約締結 	1	電気担当 電気担当 電気担当 電気担当 電気担当 電気担当 電気担当	a a a a a a a
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・松川発電所焼切川取水堰堤補修工事の完成 ・松川発電所松川取水堰堤補修工事の完成 ・仙人発電所取水塔・調整塔脚部塗装塗替工事の完成 ・新任電力土木担当職員研修の実施及び電力土木担当職員の現場視察の実施 	2	土木・施設担当 土木・施設担当 土木・施設担当	a a a
	ウ 耐震化計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・仙人発電所取水塔・調整塔耐震診断業務委託の完了 ・岩洞第二発電所濁川サイフォン耐震化対策工事（R5～R6）の完成 	3	土木・施設担当 土木・施設担当	a a
	②適切な保守管理の実施				
	ア 適切な保守作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・電気主任技術者による保安パトロール等の実施 ・定期点検等における関係者との作業・工事内容に関する事前打合せ・連絡の実施 ・各発電所の特性に関する重要引継事項についての課内研修を年度当初に実施 ・点検手入れ計画表の点検項目を全て実施 ・令和6年度実施予定の工事等に係る河川法許可の取得 	4	電気担当 電気担当 電気担当 電気担当	a a a a
	イ 風水害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の危険箇所追加調査の実施（2施設） ・北ノ又第二発電所上倉橋橋台保護工事（応急対策工）の完成 	5	土木・施設担当 土木・施設担当	a a
	ウ マニュアル等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・施設更新等に伴う保守要則の改定 	6	電気担当	a
	③新技術の活用				
	ア ドローンを活用した施設点検の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄管ドローンを活用した松川発電所水圧鉄管内部点検業務委託の完了 ・垂直ドローン等による土木施設調査を試行し本格導入を判断 	7	土木・施設担当 土木・施設担当	a a
	イ AI・IoTを活用した維持管理の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・保守データ収集システムの導入（3施設） ・AI等を活用した予兆診断システムの調査検討 	8	電気担当 電気担当	a a
	ウ 大容量通信環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所への光回線の開設（5施設） 	9	電気担当	a
	④農業用水の安定供給、共同事業者との連携				
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	<ul style="list-style-type: none"> ・年度協定に基づく岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の進捗管理 ・胆沢第二発電所共有施設補修工事(R5~R7)のR6分出来形の完成 	10	土木・施設担当 土木・施設担当	a a
	イ 河川管理者等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・北上川上流ダム再生事業に伴うダム管理者との協議 ・年間水位運用計画のダム管理者との協議・調製 	11	土木・施設担当 電気担当	a a
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・電源開発(株)との共有施設の点検及び工事の実施事項確認、次年度業務実施計画の決定 ・東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事実施事項の確認 ・和賀川河川環境保全事業の実施 ・和賀川河川現況調査を実施し、和賀川河川環境保全連絡会に報告 	12	電気担当 土木・施設担当 土木・施設担当	a a a

令和6年度 取組内容一覧表

参考資料2

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	本局担当課	達成状況
(2)	再生可能エネルギーの維持拡大				
①	新規開発の推進				
ア	新規水力発電所の開発可能性検討	<ul style="list-style-type: none"> 職員による新規開発地点の現地調査、調査地点の洗い出しを実施 基本設計業務委託の完了（2地点） 概略設計業務委託の完了（1地点） 新規開発地点可能性調査業務委託の完了（4地点） 	13	土木・施設担当 土木・施設担当 土木・施設担当 土木・施設担当	a c c a
イ	新たな電源開発に向けた調査等	<ul style="list-style-type: none"> 調整用電源の実現可能性検討に向けたケーススタディを実施 	14	経営企画担当	a
②	再開発の推進				
ア	胆沢第二発電所	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機等更新工事（R2～R8）の進捗管理（図面等承諾） 電気設備撤去工事（R5～R6）の完成 水圧鉄管更新（製作据付）工事（R5～R7）の水圧鉄管製作の完成 水圧鉄管更新（土木）工事（R5～R7）の既設水圧鉄管撤去の完成 発電所建屋改修工事（R6～R8）の着手 水車発電機基礎構築改修工事（R5～R7）の着手 	15	電気担当 電気担当 土木・施設担当 土木・施設担当 土木・施設担当	a a a a a
イ	入畑発電所	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） 水車発電機基礎構築改修工事（R5～R6）の完成 	16	電気担当 土木・施設担当	a a
ウ	新たな再開発事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> 既存発電所の再開発事業の可能性検討と方針決定 	17	電気担当	a
③	未利用エネルギーの活用推進	<ul style="list-style-type: none"> 出力アップに向けた送電線接続の調査及び事業性の検討 	18	電気担当	a
(3)	経営環境の変化に対応した安定経営				
①	適正な収入の確保				
ア	適正な売電価格の確保	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度容量確保契約の締結 非化石価値の認定及び契約先への引渡し 	19	電気担当 電気担当	a a
イ	供給電力量の向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 四十四田発電所等における洪水後期放流活用操作の継続試行 関係機関と調整のうえ年間作業停止計画を策定し、発電所を効率的に運用 	20	電気担当 電気担当	a a
ウ	地域新電力との協働・連携	<ul style="list-style-type: none"> 売電契約に基づく経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認 	21	電気担当	a
②	経営の効率化				
ア	業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 新たな技術的課題の抽出及び情報共有に向けた技術担当課長会議（4回）及び保守担当者会議（2回）等の実施 	22	電気担当	a
イ	経費の平準化	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な収支を考慮した10か年計画の改定 	23	電気担当	a
③	電力の新たな付加価値の検討	<ul style="list-style-type: none"> 電気事業制度の改正に係る情報収集 他事業者動向の調査及び分析 	24	経営企画担当 経営企画担当	a a

令和6年度 取組内容一覧表

参考資料2

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	本局担当課	達成状況
2	工業用水道事業				
(1)	良質な工業用水の安定供給				
①	施設の強化及び大規模災害への備え	・第三浄水場高圧受変電設備更新工事の契約締結	25	事業担当	a
②	適切な保守管理の実施				
ア	適切な保守作業の実施	・施設更新等に伴う工業用水道施設維持管理要領の改定 ・工業用水道施設維持管理要領に定める点検項目を全て実施	26	事業担当 事業担当	a a
イ	適切な水質管理の実施	・工業用水道施設維持管理要領に定める水質計器等の点検項目を全て実施 ・水質異常に対する訓練等の実施 ・油流出事故防止活動の実施	27	事業担当 事業担当 事業担当	a a a
ウ	トラブル発生時の対応	・トラブル対応訓練の実施	28	事業担当	a
③	新技術の活用	・スマートメーター導入に向けた試験導入対象ユーザーの選定 ・スマートメーター試験導入後の既設量水器との比較や効果の検証	29	事業担当 事業担当	a a
(2)	新たな水需要への対応	・新北上浄水場建設土木（第二期）工事の現地工程管理（配水池、沈殿池、濃縮槽、排泥池の築造） ・新北上浄水場建設機械設備（第二期）工事の工程管理（脱水機等製作機器設計、承諾図の提出） ・新北上浄水場建設電気設備（第二期）工事の工程管理（電気設備製作機器設計、承諾図の提出）	30	事業担当 事業担当 事業担当	a a a
(3)	安定的な事業運営				
①	経営の効率化				
ア	業務の効率化	・複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	31	事業担当	a
イ	経費の平準化	・長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の策定	32	事業担当	a
ウ	効率的な経営のあり方についての検討	・金ヶ崎ろ過施設ダウンサイジングに向けた配水池増設工事（R6～R8）の着手	33	事業担当	a
②	適正な収入の確保				
ア	契約水量の維持・増量に向けた取組	・ユーザー企業への訪問 ・ユーザー企業の将来需要の把握 ・給水停止期間削減に向けた設備点検手順の改善 ・新規契約・増量企業等の給水への適切な対応	34	事業担当 事業担当 事業担当 事業担当	a a a a
イ	改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・企業債の借入れ等 ・地域産業基盤整備推進交付金の活用	35	事業担当 事業担当 事業担当	a a a

令和6年度 取組内容一覧表

参考資料2

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	本局担当課	達成状況
3	組織力向上と地域貢献				
(1)	組織力向上				
①	人材の確保・育成				
ア	職員採用・人事交流と組織体制の整備	・人材確保に向けたインターンシップの受け入れや学校訪問活動等への取組 ・人事交流による人材の確保と事業運営に必要な組織体制の確立	36	管理担当 管理担当	a a
イ	有資格者の計画的な確保・育成	・電気主任技術者の確保のための継続的なフォローアップの実施 ・ダム水路主任技術者の確保のための人事交流とダム所管部局と連携した実務経験の取得を支援	37	管理担当 管理担当	a a
ウ	人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場研修や局全体対象の現場研修及び関係部局と連携した研修の実施、職場外研修の受講 ・技術研究発表会を通じた技術継承	38	管理担当 管理担当	a a
エ	経営力の強化	・経営計画推進会議及び経営評価委員会を通じた経営課題の把握及び対応検討 ・経営に関する研修の実施、DX環境の整備や業務改善の取組を推進	39	経営企画担当 管理担当	a a
②	危機管理対策	・災害応急対応訓練の実施 ・事業継続を大きく阻害する恐れのある事故等を把握し、予防対策を徹底	40	管理担当 管理担当	a a
③	職場環境の充実				
ア	ワークライフバランスの確保	・職場における働き方改革の一層の周知と業務改善を推進 ・サテライトオフィス・フレックスタイム制度等の活用促進 ・局長等と職員との意見交換会の実施 ・職員の不安や悩みの軽減に資するメンタルヘルス・健康推進事業等の実施	41	管理担当 管理担当 管理担当 管理担当	a a a a
イ	職員の働きやすさ向上	・施設総合管理所の通信環境の拡充 ・一人一台端末の予備機の配備 ・web会議マニュアルの整備 ・施設総合管理所改修工事（R5～R6）の完成 ・北ノ又第二発電所女性用トイレ増設工事の完成 ・四十四田発電所建屋改修工事（女性用トイレ増設）の完成	42	管理担当 管理担当 管理担当 土木・施設担当 土木・施設担当 土木・施設担当	a a a a a a
ウ	安全衛生対策の充実	・安全パトロール、労働災害無事故表彰の実施 ・職員安全衛生委員会の開催 ・職員の不安や悩みの軽減に資するメンタルヘルス・健康推進事業等の実施 ・新たな化学物質規制に対応したリスクアセスメントの取組の推進	43	管理担当 管理担当 管理担当 管理担当	a a a a
④	企業局事業の理解促進				
ア	広報活動の充実	・みずりん・みどりんおしらせ隊によるPR活動の実施 ・公式YouTubeチャンネルやみずりん・みどりん日記帳などのインターネット媒体を活用した情報発信 ・70周年記念事業の内容を決定	44	経営企画担当 経営企画担当 経営企画担当	a a a
イ	企業局施設を活用したエネルギー学習機会の提供	・環境学習講座を併設した施設見学会の開催 ・施設見学者の随時受け入れ	45	経営企画担当 経営企画担当	a a
⑤	事業活動の脱炭素化推進	・企業局施設への自家消費型太陽光発電の導入可能性調査の実施	46	経営企画担当	a
(2)	地域貢献				
①	電力供給を通じた地域貢献				
ア	小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー（電気料金割引）の継続 ・いわて復興パワー水力プレミアム（環境価値の地産地消）の継続 ・アマリングリーンでんきの継続 ・岩手グリーン電気の供給開始 ・FIT発電所に係る再生可能エネルギー電気特定卸供給を活用した取組	47	経営企画担当 経営企画担当 経営企画担当 経営企画担当 電気・経営企画担当	a a a a a
イ	一般会計への繰出し	・一般会計への繰出しによる震災復興及びふるさと振興関連施策の財政的支援	48	経営企画担当	a
②	地球温暖化防止に向けた取組				
ア	クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・市町村等が実施するクリーンエネルギー導入に対する財政支援	49	経営企画担当	a
イ	環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・一般会計への繰出しによる県内の環境保全や温室効果ガス排出量削減施策の財政的支援の実施	50	経営企画担当	a
ウ	市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による植樹活動支援の実施	51	経営企画担当	a
③	水素活用推進プロジェクト	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	52	経営企画担当	a

岩手を育む
チカラと
次の世代へ。

岩手県営の水力発電所由来 **100%** のでんき



Webサイトは
こちら

水ノチカラ

いわてeでんき

「水のチカラ～いわてeでんき～」とは？

東北電力フロンティアが提供する
岩手県営の水力発電所で発電した
再エネ 100% のでんきです。

- 1 岩手県営の水力発電所による電気を100%供給
- 2 水力発電はCO₂を排出しない「再生可能エネルギー」
- 3 このプランを利用することで、環境負荷を軽減

岩手県営の水力発電所由来 **100%** のでんき

水ノチカラ

いわてeでんき



岩手県企業局
四十四田発電所

対象／岩手県内の一般家庭等のお客さま（低圧）

加入条件／・岩手県内において、60 アンペア以下で電気を使用されること

・料金のお支払い方法をクレジットカード払いとさせていただくこと

※加入条件を満たす場合、企業等の法人のお客さまもご加入いただけます。

適用期間／2027年3月分まで

※適用期間を延長する場合には、新たな適用期間等について、あらかじめお知らせいたします。

電源構成／岩手県営水力発電所由来の電気 100%

電気料金の算定方法

電気料金

=

基本料金

+

電力量料金

+

再生可能エネルギー

特徴
1

基本料金は東北電力の
従量電灯Bの半額

特徴
2

電力量料金単価は
使用量によらず一定

特徴
3

再エネ100%だから、
燃料費調整なし！

※本プランは、オール電化以外のお客さま向けプランです。オール電化のお客さまで、夜間の料金がお得なプランにご契約中の場合は、現在よりも料金が高くなる場合がございます。また、本プランは、燃料費調整がございません。燃料費等調整単価は毎月変動するため、燃料費調整を行うプランを現在ご契約中の場合は、燃料費等調整額によっては、現在よりも料金が高くなる場合がございますので、ご注意ください。

いわて応援特典

先着
1,000件
まで

過去2年以内に、岩手県にお引越された方がいる世帯などを対象として、
「水のチカラ～いわてeでんき～」の **基本料金が6か月間無料** になるオプションです。

加入
条件

- ・「水のチカラ～いわてeでんき～」にご加入され、次のいずれかを満たす場合
 - [個人] 過去2年以内に岩手県外から県内にお引越された方がいる世帯
 - [法人] 過去2年以内に岩手県外から県内にお引越しし、県内で開業された企業 等
- ※お客さまのご契約開始・廃止の時期によっては、満6か月とならない場合がございます。

お申込み方法

申込期間／2026年9月30日まで

申込方法／東北電力フロンティアの Web サイトからお申込みください。

料金プランの詳細やお申込み方法は、東北電力フロンティアの Web サイトをご確認ください。

https://www.tohoku-frontier.co.jp/plan/iwate_e_denki/

お申込み・
お問い合わせは
こちらから！

